

事務事業 No./名称	■サービス部門 生涯-07 保健体育運営事業				タイムスコード及び個別事業名		
	□支援部門				198	保健体育運営事務	
主管課	スポーツ課		関連課				
分野名	スポーツ・レクリエーション						
目標 (目標値)	スポーツ活動の普及を図る。 市民のスポーツ実施率を60%にする。						
人口等の データ	データ区分	21年度	20年度	備考			
	人口	176,669人	176,484人	・各年4月1日 (住民基本台帳)			
	世帯数	78,131世帯	77,430世帯				
運営資源 状況	決算値	8,391千円	7,959千円				
	(国・県)						
	(負担金等)						
	(一般財源)	8,391千円	7,959千円				
	人員配置数	1.8人	2.1人				
	人件費	16,094千円	18,305千円				
	協働の パートナー						
事務事業 運営経費	総事業費	24,485千円	26,264千円				
	市民1人当 りの経費	139円	149円				
	対象者1人 当りの経費						
	ベンチマーク (県内外自 治体や民間 団体との比 較値)	団体名	鎌倉市	茅ヶ崎市	神奈川県		
	週1回のスポーツ実施率	50.9%	32.5%	39.7%(18年度)			
					20年度	14,000	13,655
					21年度	14,000	12,876
					22年度	14,000	
					23年度	14,000	
					最終年度 ( 年度)	14,000	
創意・工 夫・課題等 改善状況	課題・問題 点	(21年度事務事業を実施するうえでの課題・問題点は、どのようなことでしたか) より効率的なスポーツの振興を推進するための体育協会・レクリエーション協会への支援。 地域スポーツ振興の担い手である体育指導委員の活動の充実。					
	創意・工 夫・課題等 の改善点 21年度の 成果	(課題・問題点についてどのような創意工夫、改善をしましたか。また、どのような成果がありましたか) 市と体育協会が協働し、平成19年度から実施している「鎌倉ゆかりのトップアスリートとの交流会」 は、年々参加者が増加し、競技スポーツの活性化に寄与している。 体育指導委員を対象とする連絡会議の定期的な開催をはじめ、各地で開催する研修会への参加を 促した。					
	未解決の課 題・問題点	(21年度事務事業の取組において対応(解決)できなかったものはどのようなことですか) 体育協会・レクリエーション協会との役割や支援のあり方の見直し。 体育指導委員のさらなる質の向上。					
	今後の方針 (対応・改 善)	(上記対応できなかった課題・問題点について今後どのように対応(改善)していきますか) 体育協会・レクリエーション協会との連携を強化するため、定期的に意見交換を実施していく。 体育指導委員会会議の開催と研修会へ参加要請を引き続き行っていく。					
一次評価(課長評価)				二次評価(部長評価)			
A:充実又は拡大 B:現状のまま継続 C:統合又は縮小 D:廃止又は休止 E:事業完了							
評価結果	改善の必要性	各協会は、本市のスポーツ、レクリエーション活動の普及、振興に大きく貢献している。また、体育指導委員も地域のスポーツ振興に貢献している。今後とも、支援のあり方や質の向上に向けた取り組みが必要である			評価結果	改善の必要性	スポーツが与える様々な効果を考え、市民のスポーツ活動の普及を図るため今後とも、各協会、体育指導委員への支援を図ることが必要である。
A	有				A	有	
課長名		小池 忠紀			部名・部長名		生涯学習部長 植松 芳子